



平成28年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年10月30日

上場会社名 黒田電気株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 7517 URL <http://www.kuroda-electric.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 取締役兼代表執行役社長 (氏名) 細川 浩一  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役第一管理本部長 (氏名) 森 安伸 (TEL) 03 (5764) 5500  
 四半期報告書提出予定日 平成27年11月12日 配当支払開始予定日 平成27年12月10日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第2四半期の連結業績 (平成27年4月1日～平成27年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第2四半期	164,728	17.9	4,552	7.3	4,536	4.2	3,091	0.8
27年3月期第2四半期	139,699	3.2	4,242	3.5	4,353	1.1	3,067	△0.6

(注) 包括利益 28年3月期第2四半期 3,175百万円(27.4%) 27年3月期第2四半期 2,491百万円(△53.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第2四半期	82.15	—
27年3月期第2四半期	87.96	81.49

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第2四半期	136,462	79,604	56.2
27年3月期	144,818	77,788	51.4

(参考) 自己資本 28年3月期第2四半期 76,731百万円 27年3月期 74,382百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	16.00	—	20.00	36.00
28年3月期	—	47.00			
28年3月期(予想)			—	47.00	94.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想 (平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	330,000	1.1	10,500	6.1	10,600	2.9	7,000	3.5	186.00

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 有  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

除外 1社 (社名) イーコリア&クロダ エレクトリック インディア PVT.LTD.

(注) 詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報 (注記事項) に関する事項」をご覧ください。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報 (注記事項) に関する事項」をご覧ください。

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有  
② ①以外の会計方針の変更 : 無  
③ 会計上の見積りの変更 : 無  
④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報 (注記事項) に関する事項」をご覧ください。

- (4) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)  
② 期末自己株式数  
③ 期中平均株式数 (四半期累計)

28年3月期2Q	39,446,162株	27年3月期	39,446,162株
28年3月期2Q	1,811,065株	27年3月期	1,810,864株
28年3月期2Q	37,635,209株	27年3月期2Q	34,870,350株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続を実施中であり  
ます。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

平成27年5月8日に公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。上記の予想は本資料の発表日現在  
において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績等は、今後様々な要因によって予想数値と異なる  
場合があります。なお、上記予想の前提条件その他の関連事項については、添付資料3ページ「連結業績予想などの  
将来予測情報に関する説明」をご参照下さい。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(セグメント情報等)	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、引き続き輸出企業を中心に収益は改善傾向にあり、設備投資や雇用等に持ち直しの動きがみられました。また、海外においては、米国経済の緩やかな回復が続く一方で、中国及び新興国の成長減速、一部の地域における政治情勢の混乱などの下振れリスクを抱えながら推移いたしました。

当社グループを取り巻くビジネス環境は、全体的に緩やかな回復傾向にありますが、先行きは依然として不透明な状況にあります。その中で当社グループの事業は、全般的に堅調に推移いたしました。

このような状況の下、当社グループは「強い成長基盤を構築する」をスローガンに掲げ、重点事業及び重点エリアへの集中、ビジネス拡大のための継続的かつ積極的な投資を行い、収益基盤の多様化と安定的な企業成長への取組みを行ってまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は1,647億28百万円（前年同期比17.9%増）、営業利益は45億52百万円（前年同期比7.3%増）、経常利益は45億36百万円（前年同期比4.2%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は30億91百万円（前年同期比0.8%増）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

日本においては、商社・製造ともに堅調に推移いたしました。この結果、売上高は1,090億63百万円（前年同期比17.2%増）、営業利益は32億35百万円（前年同期比15.5%増）となりました。

アジアにおいては、中国市場におけるスマートフォンの普及が進んだことにより生産に一服感が見られたものの、概ね堅調に推移いたしました。この結果、売上高は517億80百万円（前年同期比18.6%増）、営業利益は12億15百万円（前年同期比2.0%減）となりました。

その他のセグメント（北米及び欧州）においては、売上高は38億84百万円（前年同期比31.9%増）、営業損失が16百万円（前年同期は営業利益84百万円）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は1,364億62百万円となり、前連結会計年度末に比べ83億56百万円の減少となりました。資産の部の内訳は、流動資産が1,122億98百万円（前連結会計年度末比65億50百万円減）、固定資産が241億64百万円（前連結会計年度末比18億6百万円減）であります。流動資産の主な減少要因は、現金及び預金19億73百万円の増加があったものの、受取手形及び売掛金13億67百万円、商品及び製品65億12百万円の減少があったためであります。

負債合計は、568億58百万円となり、前連結会計年度末に比べ101億72百万円の減少となりました。負債の部の内訳は、流動負債が545億37百万円（前連結会計年度末比101億68百万円減）、固定負債が23億20百万円（前連結会計年度末比4百万円減）であります。流動負債の主な減少要因は、支払手形及び買掛金95億83百万円、電子記録債務3億25百万円の減少があったためであります。

純資産合計は、796億4百万円となり、前連結会計年度末に比べ18億16百万円の増加となりました。純資産の部の主な増加要因は、利益剰余金23億39百万円の増加によるものであります。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)の残高は、172億59百万円と前連結会計年度末と比べ20億54百万円増加となりました。

①営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動によるキャッシュ・フローは、29億50百万円の資金の増加(前年同期比17億63百万円増)となりました。これは、税金等調整前四半期純利益45億60百万円に対して、主に、仕入債務の減少額95億53百万円、法人税等の支払額15億10百万円の減少要因があったものの、減価償却費10億59百万円、売上債権の減少額13億62百万円、たな卸資産の減少額62億85百万円の増加要因があったためであります。

②投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動によるキャッシュ・フローは、3億28百万円の資金の減少(前年同期比19億50百万円増)となりました。主に、定期預金の払戻による収入20億7百万円の増加要因があったものの、定期預金の預入による支出18億69百万円、有形固定資産の取得による支出5億34百万円の減少要因があったためであります。

③財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動によるキャッシュ・フローは、7億32百万円の資金の減少(前年同期比1億73百万円増)となりました。主に、配当金の支払額7億52百万円があったためであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年3月期の連結業績予想につきましては、現時点では平成27年5月8日に発表いたしました予想数値に変更はありません。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

イーコリア&クロダ エレクトリック インディア PVT. LTD. は、当第2四半期連結会計期間において、当社が保有する株式の一部を譲渡したことにより持分法適用関連会社となったため、連結の範囲より除外しております。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

#### (税金費用の計算)

税金費用に関しては、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税金等調整前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税金等調整前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法によっております。

### (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

#### (会計方針の変更)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日)、「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日)及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日)等を、第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	18,152	20,126
受取手形及び売掛金	62,183	60,815
商品及び製品	29,111	22,599
仕掛品	1,701	1,876
原材料及び貯蔵品	1,057	940
その他	6,733	6,041
貸倒引当金	△92	△102
流動資産合計	118,848	112,298
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	5,954	5,226
土地	4,988	4,947
その他(純額)	6,674	5,401
有形固定資産合計	17,617	15,574
無形固定資産		
のれん	877	730
その他	3,104	2,792
無形固定資産合計	3,982	3,522
投資その他の資産		
投資有価証券	3,404	3,688
その他	1,163	1,576
貸倒引当金	△197	△197
投資その他の資産合計	4,370	5,067
固定資産合計	25,970	24,164
資産合計	144,818	136,462

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	54,289	44,706
電子記録債務	4,409	4,084
短期借入金	674	747
未払法人税等	1,334	1,196
賞与引当金	618	587
その他	3,379	3,214
流動負債合計	64,705	54,537
固定負債		
役員退職慰労引当金	34	4
退職給付に係る負債	870	838
その他	1,419	1,478
固定負債合計	2,324	2,320
負債合計	67,030	56,858
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,045	10,045
資本剰余金	10,267	10,267
利益剰余金	50,854	53,193
自己株式	△1,906	△1,906
株主資本合計	69,261	71,600
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	743	594
繰延ヘッジ損益	△61	99
土地再評価差額金	526	525
為替換算調整勘定	3,978	3,969
退職給付に係る調整累計額	△66	△59
その他の包括利益累計額合計	5,120	5,130
非支配株主持分	3,405	2,872
純資産合計	77,788	79,604
負債純資産合計	144,818	136,462

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
売上高	139,699	164,728
売上原価	127,070	151,702
売上総利益	12,629	13,025
販売費及び一般管理費		
荷造運搬費	1,538	1,451
給料手当及び賞与	2,684	2,800
賞与引当金繰入額	506	459
退職給付費用	207	186
その他	3,448	3,574
販売費及び一般管理費合計	8,386	8,472
営業利益	4,242	4,552
営業外収益		
受取利息	104	75
受取配当金	46	39
その他	58	99
営業外収益合計	210	213
営業外費用		
支払利息	28	36
売上割引	37	37
為替差損	3	122
その他	29	32
営業外費用合計	98	230
経常利益	4,353	4,536
特別利益		
関係会社株式売却益	—	79
関係会社清算益	—	49
投資有価証券売却益	16	40
負ののれん発生益	192	—
特別利益合計	208	170
特別損失		
支払補償金	—	70
投資有価証券売却損	57	32
投資有価証券評価損	—	21
固定資産除却損	—	21
特別損失合計	57	146
税金等調整前四半期純利益	4,505	4,560
法人税等	1,366	1,351
四半期純利益	3,138	3,209
非支配株主に帰属する四半期純利益	71	117
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,067	3,091

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
四半期純利益	3,138	3,209
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	145	△143
繰延ヘッジ損益	△145	160
為替換算調整勘定	△662	△58
退職給付に係る調整額	15	7
その他の包括利益合計	△647	△33
四半期包括利益	2,491	3,175
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,408	3,102
非支配株主に係る四半期包括利益	83	73

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	4,505	4,560
減価償却費	975	1,059
のれん償却額	84	106
負ののれん発生益	△192	—
貸倒引当金の増減額(△は減少)	10	10
賞与引当金の増減額(△は減少)	△23	△30
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△56	△66
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△27	△9
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△3	△30
受取利息及び受取配当金	△151	△114
支払利息	28	36
関係会社清算益	—	△49
関係会社株式売却益	—	△79
投資有価証券売却損益(△は益)	41	△8
投資有価証券評価損益(△は益)	—	21
売上債権の増減額(△は増加)	△3,435	1,362
たな卸資産の増減額(△は増加)	678	6,285
未収消費税等の増減額(△は増加)	△706	636
仕入債務の増減額(△は減少)	961	△9,553
その他	176	208
小計	2,866	4,345
利息及び配当金の受取額	151	155
利息の支払額	△31	△39
法人税等の支払額	△1,799	△1,510
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,186	2,950
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△1,037	△1,869
定期預金の払戻による収入	630	2,007
有形固定資産の取得による支出	△722	△534
無形固定資産の取得による支出	△148	△121
投資有価証券の取得による支出	△53	△7
投資有価証券の売却による収入	168	218
子会社株式の取得による支出	△594	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△577	—
その他	57	△20
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,279	△328

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△74	154
配当金の支払額	△586	△752
その他	△245	△134
財務活動によるキャッシュ・フロー	△905	△732
現金及び現金同等物に係る換算差額	△281	165
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△2,280	2,054
現金及び現金同等物の期首残高	22,843	15,204
現金及び現金同等物の四半期末残高	20,562	17,259

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年9月30日)

## 1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他(注)	合計
	日本	アジア	計		
売上高					
外部顧客への売上高	93,089	43,666	136,755	2,944	139,699
セグメント間の内部売上高 又は振替高	9,126	3,564	12,690	70	12,760
計	102,215	47,230	149,445	3,014	152,460
セグメント利益	2,802	1,240	4,042	84	4,127

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、北米及び欧州地域の事業活動を含んでおります。

## 2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	4,042
「その他」の区分の利益	84
セグメント間取引消去	114
四半期連結損益計算書の営業利益	4,242

## 3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(重要な負ののれん発生益)

第1四半期連結会計期間の「日本」セグメントにおいて、連結子会社株式の新規取得により、負ののれん192百万円が発生しました。

当該負ののれんは、当第2四半期連結累計期間において、負ののれん発生益として特別利益に計上しておりません。

当第2四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	日本	アジア	計		
売上高					
外部顧客への売上高	109,063	51,780	160,844	3,884	164,728
セグメント間の内部売上高又は 振替高	8,509	4,749	13,258	92	13,351
計	117,572	56,530	174,102	3,976	178,079
セグメント利益又は損失(△)	3,235	1,215	4,451	△16	4,435

(注)「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、北米及び欧州地域の事業活動を含んでおります。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容  
(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	4,451
「その他」の区分の損失	△16
セグメント間取引消去	117
四半期連結損益計算書の営業利益	4,552